

〔長久手町業務評価票：平成16年度業務〕

課係NO・業務NO	- .	総合計画	3 - (5) -	子育て支援の充実
担当課・係名	福祉 課 医療 係 【問合せ・質問等の先(内線番号) 1 2 4 番】			

業務の名称	乳幼児医療費事業					
(1)根拠法令・条例	長久手町乳幼児医療費支給条例					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の25%(係の総業務量を100%とする) 職員延人数: 119人・日 (臨時雇用者延人数: 60人・日)					
(3)事業費 (人件費分を除く)	133,118千円(平成16年度決算)					
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	50%(平成16年度実績)					
(5)業務期間	開始した年度	16年度	終了(予定)年度			
(6)業務の概要						
業務目的(達成目標)	乳幼児を抱える家庭の医療費の負担を軽減し、乳幼児の健康や福祉の増進を図ること					
業務が対象とする住民(地域・層)	就学前乳幼児の保護者					
業務の具体的な実施内容・方法 (平成16年度実績)	就学前の乳幼児にかかる医療機関での通院・入院医療費の自己負担分を助成する。 平成16年度以前は、4歳未満児の通院と就学前の入院自己負担分の助成であったが、16年4月1日より就学前の通院も助成の対象とした。					
業務の実施結果 (平成16年度実績)	・あらかじめ、対象となる保護者へ乳幼児医療費受給者証の申請書を送付し、乳幼児医療費受給者証を送付することにより役場窓口へ来なくても良い制度とした。					
	【業務結果の説明指標】					
	結果の説明指標		15年度	16年度	17年度	22年度
1	受給者数	2,164	3,188			
2	医療費	76,550	120,360			
3						
4						
5						
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成16年度実績)	・転出入の多い時期にあわせて、広報誌(4月号)でPRの実施を行ったことによって、届出を促すことができた。					
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】					
	成果の説明指標		15年度	16年度	17年度	22年度
1						
2						
3						
4						
5						

(7) 遂行上の問題点、取組課題

保険証が変更になった場合、医療証の交付時には、説明を行っているが未届けの受給者がある。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

保険者の変更が多い時期にあわせて、広報誌でPRを実施（4月号） 問い合わせ、届出が数件ありました。

(9) 業務の評価

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、最適であったか。	3 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して最適であったか。	4 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	5 点
		平均 4 点

(10) 総合評価

今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none">1. 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
評価理由	平成16年4月から新たな施策として事業開始し、住民から大変好評である。さらに、所得制限もなく他市町から転入してきた住民からは、特に好評である。近隣市町と比較しても先進しており前年同様継続実施していく。

(11) 今後の改善方針

・今後も引き続き住民への啓発に努めていく。